



ワールドピ世界をめぐる!



第3話 ラオスの長い階段

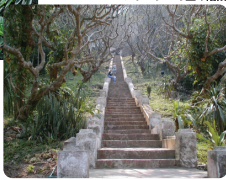
「さ、さ、さ、問題だ!」
「なに?」
「トクトクのおじさんはいいます。
「きみたちがのぼってきた長い階段、
いったい何段あったかな?」
正解したら、トクトクく代を
タダにしてあげよう」
「ええっ、お金をとるつもりだったの?」
「うちも商売だからわー」

「さあ、着いた」
3人は長い階段の前でトクトクくを待ちました。
「この階段をのぼりきったところか、
とっておきの場所さ」
「リョッピーたちはさくらのぼり始めます。
「長いから何段かおきこ
休みながらのぼるといいよ」
階段をのぼりきると、
そこは高い山の頂上。
「さー」
目の前は、王宮博物館と
雄大なメコン川が広がります。
ちょうど夕陽の落ちる時刻。
すてきな光景に、3人はつとります。
「どうだい、気に入ってくれたかい?」
「こはプーシーという山なんだ。
ちやうどいまくいの時間か、
いちばん景色がきれいなさ」
「うん、とてもすてきな場所だね!
ありがとう、おじさん」

▼ プーシーから見た王宮博物館



▼ プーシーの丘の階段



写真提供: ラオス政府観光局

「きみたち、観光かい?」
「とっておきの場所を案内しようか?」
声をかけてきたのは、
バイクタクシーのおじさんです。
「とっておきの場所?」
「行く! 連れてって!」
リョッピーたちは大はしゃぎ。
さくおじさんのバイクでレッツゴー!
「このバイクは走るときの音から、
「トクトク」というんだよ」
トクトクトクトク……。
本当にそう聞こえます。



ここで
問題!
★☆☆☆☆
問題の難易度

「正解だよ、やれたなあ」
おじさんは
「おじさん、ありがとう」
お金はタダにしてもらった
3人ですが、きくとおじさんはききやうです。
「じゃあ、おじさん、一緒に
旅の出会い」
「きくとおじさん、一緒に
旅の出会い」
「きくとおじさん、一緒に
旅の出会い」

長一い階段の段数はいったい何段!?

わかっていること
「ぼくは25段のぼるたびに休んで深呼吸していたんだ。
のぼりきったのは、深呼吸してから3段目だったよ」
「わたしは、20段のぼるたびに伸びをしたわ。
のぼりきったのは、伸びをしてから8段目よ」
「プータンはリョッピーよりも3回多く休んでいたね」
25+3=20+8になっているのがヒントだね!

ひらめいた! 25+3=20+8=28だから、
もし、階段の段数が本当より
28段少ないとすると……。
すると……!?
「ぼくらふたりは、ちやうど休憩するタイミングで
のぼりきれたってこと!」
「ちょっと待って! ということは、
わたしが20段おきで
リョッピーが25段おきだから……
ええと、最小公倍数は100だから、
階段の段数は100の倍数ね」
「100段のぼるたびに、
ふたりの休憩の回数の差は1回増えるから……」
「28段のぼるのに、ぼくもプータンも
1回しか休憩しないから……。わかった!
本当の段数は300+28=328段だ!

おにいさん
天の旅行好き。
でも、実は算数名人、だ。
プータン
リョッピーの友だち。
意外としつかり者。
リョッピー
不思議大好き。
でも、ちよつと近き虫。

おにいさんの早わかり ラオスの豆知識

インドシナ半島の中東部にあるラオスは、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、ベトナムの5か国と接し、大部分が山岳・高原の内陸国。西側をメコン川が流れる。ほとんどの住民が仏教徒。そこで暮らす人々の心はつねに豊かで、ほほ笑みをたやさないというよ。

人口: 560.9万人 面積: 24万 km²
言語: ラーオ語

中学入試問題にアタック!

Q 3で割ると1余り、5で割ると2余り、7で割ると3余る整数で1000に最も近い数を求めなさい。

(2002年 頤栄女子学院)

解答 この数を2倍した数は、3で割ると2余り、5で割ると4余り、7で割ると6余る数になるので、2倍して1を足した数は3、5、7のすべてで割り切れます。
3、5、7の最小公倍数は105なので、考えられるもとの数は、52、52+105、52+105×2、……で、この中で1000に最も近い数は997です。(52は、(105-1)÷2で求まる値です。)

(答) 997